

総 会 議 案 書

第 1 回 通 常 総 会

■次 第

1. 開会の辞・理事長あいさつ
2. 議長・書記・議事録署名人の選出
3. 議題

第 1 号議案 2011 年度 事業報告

第 2 号議案 2011 年度 決算 および 会計監査報告

第 3 号議案 2012 年度 事業計画

第 4 号議案 2012 年度 予算

第 5 号議案 定款の変更について

4. 閉会の辞

日時 2012年6月03日(日) 16時00分~18時00分

場所 Cafe Miyama 渋谷東口駅前店マイ・スペース

(東京都渋谷区渋谷 3-19-1 オミビル地下 1 階)

特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

法人名： 特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

財産目録

2012年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	1,377		
りそな銀行	446,202		
ゆうちょ銀行	0		
流動資産合計		447,579	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			447,579
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			447,579

法人名： 特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

貸借対照表

2012年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	468,741		
流動資産合計		468,741	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			468,741
II 負債の部			
1. 流動負債		△ 19,785	
流動負債合計		△ 19,785	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			△ 19,785
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		467,364	
当期正味財産増減額		△ 19,785	
正味財産合計			447,579
負債及び正味財産合計			427,794

平成23年度事業報告書

平成23年11月17日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

1 事業実施の方針

法人設立以前からの継続事業である「交流会」の継続を軸に、会員への情報発信と会員相互の交流を図り、また疾患の認知を広めるための事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	当該事業の実 施日時	当該事業の実 施場所	従事者数	受益対象者	受益者数	収支予算書の 事業費の金額 (単位:千円)
		内容					
①眼瞼下垂の 患者家族に対 するサポート 事業	ア、関東での 親子交流会開 催	2024年3月4日	東京ウイメン ズプラザ	5名	患者とその家族	31家族 89名	20
		疾患に対する知識を深め、治療の時期や場の検討に役立てる。 また日常生活上の悩み等を共有する。					
	イ、当事者向 け交流会の開 催	当該年度は実施に至らなかった					
	ウ、手術後の 家族の交流会	有志の会員が平成23年12月に術後の家族の集まりをもった。 (法人としては、当該年度は実施に至らなかった。)					
	エ、地方都市 の交流会	当該年度は実施に至らなかった					
	オ、会員向け メールマガジ ン	毎月一回	事務局	毎回2名	法人正会員	65名	0
②眼瞼下垂の 疾患の認知を 広めるための 広報事業	ア、眼瞼下垂 の認知拡大に 向けたイベン トへの参加	24年1～3月	リバティおおさ か(大阪市人 権博物館)	1名	(リバティおおさ か来場者)	不特定多数	10
		企画展「見た目問題ってどんな問題？－顔の差別と向き合う人々－」へのパネル・リーフレットの制作と展示					
	イ、眼瞼下垂 の認知拡大に 向けた啓発活 動	23年11月 ～24年3月	事務局他	5名	産科に勤務する 医療従事者	500施設 約10000人	0
	「先天性眼瞼下垂」の患児やその母親への対処方法を知ってもらうための、産科施設を対象とした啓発活動 (次年度への継続事業)						
	ウ、団体ホーム ページを通 じた広報活動	通年	事務局	2名	患者とその家 族、および一般 市民	不特定多数	0
③その他、上 記目的を達成 させるために 必要な事業		当該年度は実施に至らなかった					

法人名： 特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

活動計算書

2011年 11月 17日 ~ 2012年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費		33,800	
2. 受取寄付金		1,000	
3. その他収益(利息)		38	
経常収益計			34,838
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費	0		
通信運搬費	0		
その他経費計	14,400		
事業費計		14,400	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
研修会参加費	9,500		
人件費計	9,500		
(2) その他経費			
印刷製本費	4,450		
通信運搬費	2,140		
雑費	24,133		
その他経費計	30,723		
管理費計		40,223	
経常費用計			54,623
当期正味財産増減額			△ 19,785
前期繰越正味財産額			467,364
次期繰越正味財産額			447,579

2011ザ・ボディショップニッポン基金 助成事業

産科施設を対象とした「先天性眼瞼下垂」を知ってもらうための啓発活動

会計報告(6月3日現在の途中経過)

収入の部

摘要	金額(円)	備考
ニッポン基金助成金	300,000	
収入計	300,000	

支出の部

摘要	金額(円)	備考
冊子印刷代	166,425	
小冊子発送代行	49,875	
原稿執筆料	30,000	
配布者への謝礼	11,000	
通信費	7,750	
消耗品費・雑費	12,330	
資料作成・発送費		
支出・計	277,380	

平成24年度事業計画(案)

2012年4月1日から2013年3月31日まで

特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

1 事業実施の方針

法人設立以前からの継続事業である「交流会」の継続を軸に、会員への情報発信と会員相互の交流を図り、また疾患の認知を広めるための事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	当該事業の実施日時	当該事業の実施場所	従事者数	受益対象者	受益者数	収支予算書の事業費の金額 (単位:千円)
		内容					
①眼瞼下垂の患者 家族に対するサ ポート事業	ア、関東での親子交流会開催	9月・3月	東京ウイメンズプラザ	5名	患者とその家族	各100名×2回	30
	疾患に対する知識を深め、治療の時期や場の検討に役立てる。また日常生活上の悩み等を共有する。						
	イ、当事者向け交流会の開催	10月に実施予定	都内会場				10
	ウ、手術後の家族の交流会	11月に実施予定	都内会場				10
	エ、地方都市の交流会	10月～3月	全国5会場	各1名	患者とその家族	各5組15名×5か所	300
	オ、会員向けメールマガジン	毎月一回	事務局	毎回2名	法人正会員	65名	0
②眼瞼下垂の疾患の認知を広めるための広報事業	ア、眼瞼下垂の認知拡大に向けたイベントへの参加	2012年5月16日	エースドリーム番組ヒロコヴィッチの穴出演	1名	インターネット上	不特定多数	20
		2012年6月17日	生きている図書館(千葉市)	1名	当該イベント参加者	不特定多数	
	ほか、共催イベント等への参加						
	イ、眼瞼下垂の認知拡大に向けた啓発活動	23年11月からの継続事業～24年7月	事務局他	5名	産科に勤務する医療従事者	500施設約10000人	300
	ウ、ホームページを通じた広報活動	通年	事務局	2名	患者とその家族、および一般市民	不特定多数	0
③その他、上記目的を達成させるために必要な事業							

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成24年4月1日から 25年 3月 31日まで

特定非営利活動法人眼瞼下垂の会

科 目	予算額	備考
I 収入の部		
1 入会金・会費収入		
入会金収入(新規会員)	12,000	600円×(ファミリー10+シングル10)
会費収入	30,000	シングル会員 1000円×30名
	150,000	ファミリー会員 3000円×50名
25年度会費は、3月までに前納する		
2 事業収入		
①眼瞼下垂の患者家族に対するサポート事業		
ア. 東京での交流会開催収入	30,000	(NPO会員外からの会費)
イ. 当事者向け交流会の開催	5,000	
ウ. 手術後の家族の交流会	5,000	
エ. 地方都市における交流会開催	25,000	
3 寄付金収入	150,000	
4 助成金収入	300,000	
当期収入合計(A)	707,000	
前期からの繰越金額	447,579	
収入合計(B)	1,154,579	
II 支出の部		
1 事業費		
(1)人件費	0	
(2)その他経費		
①眼瞼下垂の患者家族に対するサポート事業費		
ア. 東京での交流会開催		
会場費	20,000	
通信費	5,000	
その他雑費	5,000	
イ. 当事者向け交流会の開催		
会場費	5,000	
通信費	2,500	
その他雑費	2,500	
ウ. 手術後の家族の交流会		
会場費	5,000	
通信費	2,500	
その他雑費	2,500	
エ. 地方都市における交流会開催		
会場費	25,000	5会場
旅費交通費	250,000	〃
通信費	15,000	
その他雑費	10,000	
オ. 会員向けメールマガジン		
① 小計	350,000	
②眼瞼下垂の疾患の認知を広めるための広報事業		
ア. 「見た目問題」を扱うイベントへの参加		複数回の実施を見込む
資料製作費	10,000	
交通通信費	10,000	

イ.眼瞼下垂の認知拡大に向けた啓発活動		(平成23年度からの継続事業)
冊子製作費	160,000	原印刷
監修謝礼・執筆料	30,000	
配布者への謝礼	11,000	図書カード@500 ×22名
配送代行	50,000	原印刷
通信費(郵送料)	24,000	
消耗品費・印刷代	25,000	
ウ. 団体ホームページを通じた広報活動	0	
② 小計	320,000	
③その他上記目的を達成させるために必要な事業	0	
③ 小計	0	
事業費支出合計	670,000	
2 管理費		
(1) 人件費	0	
(2) その他経費		
会議費	30,000	理事会・総会のための費用
研修費	10,000	理事等が出席する研修会の費用
旅費交通費	10,000	
通信費	30,000	切手・メール便 等
消耗品費	30,000	事務用品 封筒 コピー紙
雑費	10,000	登記にかかる印紙代ほか
その他経費・計	120,000	
管理費支出合計	120,000	
経常支出合計	910,000	
3 予備費	50,000	
当期支出合計(C)	960,000	
当期収支差額(A)-(C)	-253,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	194,579	